



広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

**きのくに21** 日曜 9:30・(再) 18:00  
12月 5日 紀の国わかやま文化祭2021  
12月 12日 知事と語る  
12月 19日 わかやま環境賞

**県民チャンネル**  
月・火・木・金・土曜 21:55

ラジオ 和歌山放送 WBS

**県庁だより** 毎日 11:40・(再) 18:00  
※土・日曜は再放送がありません。

**ラジオでお届け!県政最前線** 火曜 15:40  
放送内容・時間は都合で変更する場合があります。



**紀の国わかやま文化祭2021**

第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会  
令和3年10月30日(土)~11月21日(日)

文化祭へのご協力  
ありがとうございました

本県で初開催の「紀の国わかやま文化祭2021」が、11月21日をもちまして閉会しました。

文化祭期間中、各イベントを無事に開催することができたのは、一緒に開催を支えていただいたすべての皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

この文化祭を契機に、先人から受け継いできた豊かな文化を次の時代へと発展させ、今後とも「文化の咲き誇る和歌山」をめざしていきましょう。



問 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会事務局

☎073-441-2570 FAX073-423-7120

紀の国文化祭 🔍

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



あちら立てればこちら立たず

昔からよく言われることわざですが、私は、この世の中はこういうことばかりだと思います。知事として県行政を預かっていると、毎日毎日この事を痛感します。

特に世界も日本もこの和歌山も、この2年間新型コロナウイルスに翻弄されました。感染症は人から人へうつりますから、新型コロナウイルスを抑えるためには、人が外出を控えて人との接触を断つしかないと言主張する人々が多いのですが、そうすると生活は悲惨なことになります、経済はガタガタになってしまいます。感染防止を立てれば、生活と経済は大変なことになるのです。コロナワクチンもそうです。副反応のリスクがこわいと接種をやめていたら、感染するリスクと感染させるリスクが小さくなりません。和歌山県がチャレンジしているIR構想は、賭け事のようなよろしくないことに手を出すなんぞ止めるべきだという意見の方もいますが、そうすると、うまくいった時に期待できそうな県民所得の10%近い増加のチャンスもなくなるし、それでは減り続ける人口の減少をどうやって止めるのだという問題も残ります。道路を良くしたり、河川を安全にしたり、福祉をもっと潤沢にしたり、教育をもっと安価にしたりとやりたいことはたくさんありますが、県の財政の制約を無視することができるわけがありません。あちらを立てればこちらが立たずの中で私はいつも呻吟しています。

しかし、人間には、工夫をする能力があります。何とか考えて、あちらもこちらも少しは立つようにする可能性を持っています。

新型コロナウイルスも人流にばかり頼らずに、保健医療行政が活躍してコロナをほどほどに抑えつつ、県民の暮らしの打撃をできるだけ少なくしてきたのが和歌山県です。IRもその弊害を最小限にして、経済発展に結び付ける方策を工夫しながら遂行することはできません。インフラ投資も福祉や教育も、財政投入のわりに効果を最大にするような工夫があるはずですよ。

あちらを立てればこちらが立たなければ、工夫次第であちらもこちらでもまずまず満足という解があるはずだと毎日県庁を挙げて考えています。

和歌山県知事 仁坂 吉伸



手話表現紹介動画はこちらから



総合評価値 80

・古紙パルプ配合率  
※残りは、その他の持続可能性をめざしたパルプを使用  
・塗工量

70%以上  
30g/ml以下

リサイクル適性  
この印刷物は、印刷用の紙でリサイクルできます。